

# セキュリティ・キャンプ2020 Lトラック 成果報告

---

LI 暗号解読チャレンジゼミ  
回答ID 50

# キャンプ期間中にやったこと一覧

---

- ElGamal暗号

1. 応募課題で実装したElGamal暗号の改良
2. ElGamal暗号に対する選択暗号文攻撃の実装
3. 離散対数高速計算アルゴリズム(Pohlig-Hellman)の実装

- Schmidt-Samoa暗号

4. 初見の暗号(Schmidt-Samoa暗号)の提案論文を読む
5. Schmidt-Samoa暗号の実装
6. Schmidt-Samoa暗号の解読手法の実装

# 0 応募課題で実装したElGamal暗号

- ElGamal暗号の流れを実装 (使用言語 C)

- $y(=a^x)$  は公開鍵,  $x$  は秘密鍵
- 暗号化  $(c_1, c_2) = (a^r, my^r)$
- 復号化  $m = c_2 / c_1^x$

- 値が大きくなるとオーバーフローする

- 長い平文を入力できない
- $a$  や乱数  $r$  の値を大きくできない

▼上は正しく暗号化できた例

下は大きな値を入力してオーバーフローした例

```
-IstDxi-R027:~$ gcc ElGamal.c -lm
-IstDxi-R027:~$ ./a.out
平文を入力してください: 54321
=====
公開鍵(a,y)=(6,216)
暗号化(c1,c2)=(6,11733336)
=====
復号化m=54321
復号成功!

-IstDxi-R027:~$ ./a.out
平文を入力してください: 1928374650
=====
公開鍵(a,y)=(6,216)
暗号化(c1,c2)=(36,-2147483648)
=====
復号化m=-46028
復号失敗...
```

# 1 応募課題で実装したElGamal暗号の改良

---

- Powの計算にバイナリ法を使うことで高速化

- 再帰関数を用いた実装
- ビット操作を用いた実装

- moduloを用いて計算

- long型を使用

```
-IstDxi-R027:~$ gcc ElGamal3.c
-IstDxi-R027:~$ ./a.out
平文を入力してください：1928374650
=====
公開鍵(a,y,p)=(23631,45648,57223)
暗号化(c1,c2)=(29580,18662809862700)
=====
復号化m=1928374650
復号成功！
```

- 応募課題時の実装に比べて、かなり大きな値(intの上限程度)まで正しく暗号化できるようになった.

## 2 ElGamal暗号に対する選択暗号文攻撃の実装

---

- 選択暗号文攻撃(CCA)とは

攻撃者が任意に選択したある暗号文を正規ユーザに復号させることができた場合に、元の暗号文と得られた平文から暗号鍵を推測する攻撃.

- ElGamal暗号はIND-CPA安全だが、IND-CCA安全ではない.

(応募課題で証明済)

## 2 ElGamal暗号に対する選択暗号文攻撃の実装

### ● アルゴリズムの流れ

1. 攻撃者が適当に選んだ暗号文( $c_1', c_2'$ )について, 正しい秘密鍵  $x$  を用いて復号し, 平文  $m'$  を得る.
2. 攻撃者が秘密鍵  $x'$  を作り,  $m' = \text{Dec}(c_1', c_2', x')$  となるような  $x'$  を総当たりで求める.
3. 2. で求めた鍵  $x'$  を用いて, 解読対象の暗号文( $c_1, c_2$ )から平文  $m$  を入手する.

- スライド 4 ページの暗号文 (29580, 18662809862700) に対して, 正しい平文を求めることができた.

```
-IstDxi-R027:~$ gcc cca.c
-IstDxi-R027:~$ ./a.out
解読対象の暗号文を入力：
C1：29580
C2：18662809862700
=====
復号オラクルの復号結果：1769546965
推定した秘密鍵attackX：53537
=====
正しい秘密鍵xの復号文：1928374650
attackXの復号文：1928374650
解読成功！
```

### 3 離散対数高速計算アルゴリズムの実装

---

- ElGamal暗号の安全性は、離散対数問題の難しさに基づいている。
  - $y = a^x \pmod{p}$  について、 $p$  が素数で  $a$  が  $\mathbb{Z}_p$  の生成元であるとき、 $y$  から  $x$  を求めることは困難.
- 離散対数を高速に解くアルゴリズムがいくつか存在する。
  - ベビーステップ・ジャイアントステップアルゴリズム
  - Pollardの  $\rho$  アルゴリズム
  - Pohlig-Hellmanアルゴリズム

など
- 今回は、Pohlig-Hellmanアルゴリズムを実装した.

### 3 離散対数高速計算アルゴリズムの実装

---

- Pohlig-Hellmanアルゴリズムの流れ

①  $p-1 = q_0^{e_0} q_1^{e_1} \cdots q_k^{e_k}$  と素因数分解する.

② 各々の  $i$  ( $0 \sim k$ ) について  $x_i = x \bmod q_i^{e_i}$  を求める.

1.  $n = (p-1) / q_i$  とおく.

2.  $y^n \bmod p$  を求める.

3.  $y^n \bmod p = g^{na} \bmod p$  を満たすような  $a$  ( $0 \leq a < q_i$ ) を求める.

4.  $\{y(g^{-1})^a\}^{(n/q)} \bmod p = g^{nb} \bmod p$  を満たすような  $b$  ( $0 \leq b < q_i$ ) を求める.

➤ (逆元を計算するには, 拡張ユークリッドの互除法やフェルマーの小定理を用いるとよい)



### 3 離散対数高速計算アルゴリズムの実装

---

5.  $\{y(g^{-1})^{a+bq_i}\}^{(n/q_i^2)} \bmod p = g^{nc} \bmod p$  を満たすような  $c$  ( $0 \leq c < q_i$ ) を求める.

6. 以下同様に  $e$  の値まで繰り返す.

7.  $x_i = a + bq_i + cq_i^2 + \dots$  を求める.

#### ③ 連立合同式

$x \equiv x_1 \pmod{q_1^{e_1}} \quad \dots \quad x \equiv x_k \pmod{q_k^{e_k}}$  を

中国剰余アルゴリズムを用いて計算する.

### 3 離散対数高速計算アルゴリズムの実装

- スライド4ページのElGamalアルゴリズムについて, Pohlig-Hellmanを実行した例

- 総当たりで鍵を求める方法(fullSearch.c)と比較すると, (鍵の値が小さいので大きな差はないが, )Pohlig-Hellmanアルゴリズムの方が高速であることが実感できた.

上はPohlig-Hellmanアルゴリズムを用いてxを求めた例

下は総当たりでxを求めた例▶

```
-IstDxi-R027:~$ gcc pohlig2.c -lm
-IstDxi-R027:~$ ./a.out
【公開情報】(a,y,p)=(23631,53532,57223)
=====
57222 = 28611 * 2^1
【x mod 2^1となるx_0】 1
28611 = 3179 * 3^2
【x mod 3^2となるx_1】 2
3179 = 289 * 11^1
【x mod 11^1となるx_2】 9
289 = 1 * 17^2
【x mod 17^2となるx_3】 253
=====
推定鍵attackX=55163
y(=a^x mod p)=53532
y(=a^attackX mod p)=53532
解読成功
=====
実行時間は1.948000ミリ秒でした
-IstDxi-R027:~$ gcc fullsearch.c
-IstDxi-R027:~$ ./a.out
【公開情報】(a,y,p)=(23631,53532,57223)
=====
推定鍵attackX=55163
y(=a^x mod p)=53532
y(=a^attackX mod p)=53532
解読成功
=====
実行時間は19.694000ミリ秒でした
```

# 4 Schmidt-Samoa暗号の提案論文を読む

- ElGamal暗号に一段落つけて、初見の暗号に挑戦.

- 論文を読んでみての所感
  - 予備知識がなかったので、新鮮な気持ちで読めた.
  - 数学的背景の理解に苦労した.
  - 英語の意味を履き違えたこと多数...

## A New Rabin-type Trapdoor Permutation Equivalent to Factoring and Its Applications

Katja Schmidt-Samoa

Technische Universität Darmstadt, Fachbereich Informatik,  
Hochschulstr. 10, D-64289 Darmstadt, Germany  
samoa@informatik.tu-darmstadt.de

**Abstract.** Public key cryptography has been invented to overcome some key management problems in open networks. Although nearly all aspects of public key cryptography rely on the existence of trapdoor one-way functions, only a very few candidates of this primitive have been observed yet. In this paper, we introduce a new trapdoor one-way permutation based on the hardness of factoring integers of  $p^2q$ -type. We also propose a variant of this function with a different domain that provides some advantages for practical applications. To confirm this statement, we develop a simple hybrid encryption scheme based on our proposed trapdoor permutation that is CCA-secure in the random oracle model.

**Keywords:** trapdoor one-way permutations, EPOC, hybrid encryption, Tag-KEM/DEM framework

## 4 Schmidt-Samoa暗号の提案論文を読む

---

- Schmidt-Samoa暗号とは
  - 2006年にK.Schmidt-Samoaが提案.
  - Trapdoor one-way permutationを応用. ( $n(=p^2q)$ から $d$ を求めるのは困難)
  - (提案した) Tag-KEM/DEMを用いることで, CCA安全なハイブリット暗号を構築.
    - KEM : 公開鍵暗号を使って秘密鍵をカプセル化
    - DEM : 共通鍵暗号によってデータを暗号化・復号
    - Tag : 乱数値を設定することで, 途中で改ざんされていないかチェック
  - **IND-CCA安全**である.

# 5 Schmidt-Samoa暗号の実装

---

## ● Schmidt-Samoa暗号のアルゴリズム

### 【鍵生成】

- 2つの大きな素数  $p, q$  を選択し, 積  $N = p^2q$  を計算する.
- $d = N^{-1} \bmod \text{lcm}(p-1, q-1)$  を計算する.
  - $(pk, sk) = (N, d)$  を出力

### 【暗号】

- 平文  $m$  に対して  $c = m^N \bmod N$  を計算する.
  - $c$  を出力

### 【復号】

- 暗号文  $c$  に対して  $m = c^d \bmod pq$  を計算する.
  - $m$  を出力

## 5 Schmidt-Samoa暗号の実装

- ElGamal暗号の実装からの変更点.
  - GMP(多倍長精度の演算ライブラリ)を用いることで, 大きな桁同士の演算に対応.
  - 実行毎に鍵(素数の組)を生成するように改良.

```
-IstDxi-R027:~$ gcc samoa2.c -lgmpxx -lgmp
-IstDxi-R027:~$ ./a.out
平文を入力してください: 45787473472472778465857657
(p,q): (41579849451443,805833479872073)
鍵(N,d): (1393192513641223873957547523934609471232177,12401963168305447316695137921)
暗号: 1119287482458811655346582211229454851716092
復号結果 45787473472472778465857657
復号成功

-IstDxi-R027:~$ ./a.out
平文を入力してください: 123747546435844875348578457
(p,q): (305047401356759,1252064165231311)
鍵(N,d): (116509475003402019617726169378295131127760191,42722795625877073218005139411)
暗号: 104955126999932002031768645661168813945347153
復号結果 123747546435844875348578457
復号成功
```

## 6 Schmidt-Samoa暗号の解読手法の実装

---

- かなり強力な暗号なので、一筋縄では行かない・・・
- 暗号の構造的欠陥を突くことで、条件付きで解読.
  - Enc :  $c = m^N \bmod \mathbf{N}$  ( $N = p^2q$ )
  - Dec :  $m = c^d \bmod \mathbf{pq}$
  - 暗号と平文の法が一致していない.
    - $x^{Nd} \bmod pq$  と  $x$  が異なるのにも関わらず,  $x^{Nd} \bmod pq$  と  $x \bmod pq$  が一致するような  $x$  が存在する.

## 6 Schmidt-Samoa暗号の解読手法の実装

---

$pq = s$ とおき,  $0 < x < s$ ,  $0 \leq k < p$  とする.

$$\begin{aligned} \text{二項定理より } (x + ks)^N &\equiv x^N + x^{N-1}ks + x^{N-2}ks^2 + \dots + ks^N \\ &\equiv x^N + x^{N-1}ks \pmod{N}. \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{Dec}(x^N + x^{N-1}ks) &\equiv (x^N)^d + (x^N)^{d-1}(x^{N-1}ks) + \dots + (x^{N-1}ks)^d \\ &\equiv (x^N)^d \equiv x \pmod{s}. \end{aligned}$$

逆に, ある  $0 \leq x < N$  に対し,  $\text{Dec}(\text{Enc}(x)) \equiv x \pmod{s}$  であるとする.

このとき  $y := \text{Dec}(\text{Enc}(x)) \pmod{s}$  とおくと,

$\text{Dec}(\text{Enc}(x)) = y + ks$  なる  $k$  がただひとつ存在する.

$x' := x \pmod{s}$  とおく.

すると  $x = x' + ls$  なる  $0 \leq x' < s$  と  $l$  がそれぞれただひとつ存在する.



## 6 Schmidt-Samoa暗号の解読手法の実装

---

$x = x' + ls = y + ks$ と  $0 \leq x' < s$ ,  $0 \leq y < s$  から  $x' = y$ .

すると  $x' - y = ls - ks = (l - k)s$  から  $l - k = 0$ .

したがって,  $\text{Dec}(\text{Enc}(x)) = x$  なる  $x$  の全体は,  
ちょうど  $\{x + ks \mid 0 \leq k < p\}$  ですべて表現できる.

仮に攻撃者がこのような  $x$  を探せたとする.

このとき,  $y := \text{Dec}(\text{Enc}(x))$  に対し  $x - y = ks$  なる整数  $k$  が存在する.

$0 \leq x < N$  の範囲であれば  $0 \leq k < p$  であるから,  $\gcd(x - y, N) = s$  となる.

## 6 Schmidt-Samoa暗号の解読手法の実装

---

例)  $x=2$ とおくと,  $2^{Nd} = 2 \bmod s$  より  $2^{Nd} = 2 + ks$  (ただし  $k > 0$ ).

➤  $2^{Nd} - 2 = ks$  より  $\gcd(2^{Nd} - 2, N) = s$

この性質を用いて,  $N, d, c$ が分かっている状態から,  $pq$ および $m$ を推測する.

### ● 過去にCTFで出題された問題

$N =$

```
1043247381320041410146374847683905608886067988802815759655490071506964811427733496668055364700822779908166748193534341903
2853873326580815620415342289615384518300250417625376399851503449175840648276153565357638725399259899841170682075554987005
8537633073142835948979160031963607977702534421724847548583529868943792600395857814178437985795126497310921480391644570296
4047899447002191548965239884095802091798787988745415178578597206815122915438351636672681355517982410123569961242563194480
3993479617536781592102179935267383067965036605631630292874197322102475797932668910851788170475367584652399508612665925242
0639086982297246913756604517669027781335256339283884741767452925162741947981509786889099315321551548887709776027239948311
1013602618554846096893805108827211344467797072352072430591318485091677011261912992157762106672216780766138057271434398274
272110062768324672899209610001835423246735718435995420720133657793744810610657
```

$d =$

```
1057178776722242957842916753855467501296014721633795273753671282380034717930973417633919995039136595420875208083642871676
4534955589777442817628882903147770359477634126816043366897623719833012490437254689795395524177847532207416046976716256623
4358907740412805211247598698481640207956827199048419949848619731050860757808082106844953602176503247786535423423104239566
910713528691298692332149783689032722772009974404716783312200885553438776110949981173079703992416402135538200434601404938
0340419077417191296265107510098383407125902103832288611466002878822909487254551605475770006826462802452439499579513546474
6570071201
```

## 6 Schmidt-Samoa暗号の解読手法の実装

c =

```
3433696867079169214970788514523959542520747536280248553265921485948282665678534977844489028399605998554572613876591749438
6486132479860740721019876253166550052366862767262338010028304770792796610171526619035547668020408128812410098300364955949
9979731342450364456322062273208742008750774795951290651360492364136674198126979777860541228166734597108964573061640243513
5714406892991664955413299908026024948966199955914853117790603536507001999810440583094060679352051967081780003706430186392
8200332830749288826325667210490527445364404202475143996724304914772476946478504332874164541921488573694048713906246378602
2104540986811119563549305718088453842093257734689508882969016290658885961965896726616361694426487326338043950416067501288
0659428625355600130372837615527974109807131865066718444180963953042340503425518499998670177709686335121785450448387667937
95733222455421862835695299142219006201321417882617773291364153890050471244104
```

```
-IstDxi-R027:~$ gcc samoaCTF.c -lgmpxx -lgmp
-IstDxi-R027:~$ ./a.out
推定したpq: 11555261075277094573514576491845123967116984568011393937084894434201415546436225711563
25321007624293500406763201368291554548859181695389888072222980699289911162654258285408241547181982
62006505536289358073461717643644323771029984127155874226642473622026678472237157254500323861489386
76702860414950380694336191523267694877972952133893286573861618116854428043864691534496670356524729
31096181353735625021282599044272471999940302417273365506726445863667433451963461566583715306138917
11942087087953705155660285387016353850522452675339935480718917974625747440083282634427397711605323
31228222408686897127027256310436890162529
推定した平文: 658931035542156075001292166309669978679968710927506732255254347377994692633411432433
818702354279282413899172724667916669
解読成功
```

# キャンプを振り返って

---

- 簡単な処理(forループや素因数分解など)だけでも多くの発見があった.
- 日常的にプログラムを書くのは疲れるけどいい体験だった.
- 少し講師に質問しすぎた… かも…
- コードが動くか否かが最優先で, 理論的な部分やコードの効率性についてはあまり触れられなかった.

# 最後に

---

- キャンプ期間中に書いたコードはGitHubで公開しています.  
<https://github.com/biyosh/SecCamp-L1>
- ご清聴ありがとうございました.